

いずみ

泉会事務局
〒157-0076
世田谷区岡本二丁目33番23号
TEL 03(5429)6721(代)
FAX 03(5429)6722
info@izumikai.jp
https://izumikai.jp



2 0 2 3

社会福祉法人 泉会



岡本福祉作業ホーム玉堤分場
日帰り旅行に行ってきました！



本年度の聖句

あなたがたの天の父は、求める者に良いものをくださるにちがいない。
だから人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。
『マタイによる福音書』第7章11節〜12節



軍拡予算にノーを！

理事長 齋藤 金義



2023年度予算の骨格が定まった。
特筆すべきは、今後5年間で43兆円の防衛費の増額が決まり、23年度予算の防衛費関連支出は22年度の5兆3千億円から10兆1千億円、増加額は4兆7千億円、9割の増加、倍増である。5年後の防衛費はGDPの2%になる。今回の軍拡に対して、国民世論からは反発がない。理由は2つある。1つはロシアによるウクライナ侵攻、2つには中国脅威論である。

しかし、よく考えるべきである。ウクライナ問題は、ソ連という同じ国家同士であった国の国境、民族問題を内包しており、背景は複雑だ。中国のGDPは日本の3倍を超え、その軍事力は日本の数倍である。しかし、脅威は、能力×意志である。米国は世界一の軍事能力があるが、日本に対する攻撃意志はないから脅威ではない。中国はどうか？台湾や尖閣問題という種はあるが、日本の最大の貿易投資相手国であり、日本が戦争を仕掛けない限り、中国が日本を攻撃する意思はない。中国は脅威ではない。脅威論を振りかざし、外交努力をなおざりにするのは間違いである。福祉をはじめとして教育、移民、科学技術、観光、農業などに予算を振り向けるべきであろう。

◆ 泉会の防災の取り組み ◆



日の出エリア合同

日の出町第3自治会との
災害活動相互応援協定に
基づく総合防災訓練から

高木有己

日の出町第3自治会は早くから防災の先駆的な取り組みをしてきた地域です。1988(昭和63)年7月に自治会内の施設と災害活動相互応援協定を締結し、毎年自治会特別会員の施設が順番に当番となつて、自治会と消防団、消防署の方々の協力のもと施設での合同防災訓練を行ってきました。これまでは地震や火災を想定した消防避難訓練が主流でしたが、時代は地域の方たちと協力して大規模災害に備え、風水害対策や事業継続計画に基づく非常災害対策の訓練を求めるようになり、泉会の各事業所も運営規程を改定しています。

第3自治会の皆さんの歴史ある取り組みにより、日の出エリアの事業所には、このような時代の要請に応えるための環境が既に整っています。ただ風水害対策や事業継続計

画に係わる訓練を効果的な内容にするのは難しく、2018年の当番では導入を見送ったほどです。この度の計画も10月7日の自治会館での事前会議の直前にやっとまとまり、事前訓練もほとんどできませんでした。

しかし日の出舎・就労日の出舎の高橋、森岡施設長、柳田防火管理者を中心に、エリアの職員が交替で練習した結果、秋川消防署や第3自治会の皆様から、これまでにない内容の訓練として高い評価をいただくことになりました。

2022年10月30日の当日は、新型コロナウイルス感染症の流行でしばらくお会いできなかった自治会の皆様と見学の利用者さんが、久しぶりに訓練を共有することができ、ありがたかったです。

訓練では協定にある防災上の情報交換をテーマに、寸劇での演技と解説で、第3自治会の住民の皆様と共に、谷戸地域の地形、環境から想定されるリスクに対する防災対策を想像し、これからの防災を展望しました。さらに秋川消防署と消防団のご協力で水防の技術講習も受け

ることができました。

施設の訓練構成は場面の切り替えを伴う2部編成となりました。(1)スーパ―台風による土砂災害、通行止め、停電、断水の発生を想定し、防災気象情報の理解とそれに基づく水防等の訓練、警戒レベルによる垂直避難訓練を実施。(2)発災後3～5日を想定した日の出舎事業継続計画の取り組みとして、地域協力の給水、物資運搬訓練を行いました。施設長からは、「タイムリーな内容で参加された方にとって身近な防災訓練となり、自治会や消防署の方から評価を頂けたのではないかと。」「自治会の皆様に利用者等の状況、町の避難施設としての備蓄品や保有器材の確認もして頂けてよかった。」「柳田職員は「防火管理者となった初年度に地域と密着した防災の取り組みができ、地域協力の重要性を感じています。他施設にも学びながら地域とともに新しい知識を共有し、防災力の向上に努めたいです」と話していました。関心をもって参加してくださった第3自治会の皆様をはじめ、消防の関係者の皆様ご協力ありがとうございました。



コイノニアかみきた 転ばぬ先の杖

越川 則行

世田谷区より「世田谷区地域保健福祉等推進基金」を活用した防災対策のための整備に関する案内がありました。防災以外にも車両整備など他のテーマもあったのですが、コイノニアかみきたで活用できそうなテーマが防災対策だけだったので、このテーマの中で何が必要かを施設内で検討し、アイディアとして挙げたのが止水板の購入でした。

施設開設以来、上北沢地域で水害が発生したことはありませんが、世田谷区の内水氾濫・中小河



水圧で固定されます



3つを連結させています



川洪水版のハザードマップによると施設付近も浸水予想区域に入っています。実際、今までも雨台風の予報が出た際は近隣の地区会館にある土嚢をお借りして浸水対策をしていました。(幸いなことに土嚢が活躍した形跡はありませんが)可能性は高いかもしれないかもしれませんが、近年想定外の大雨を全国各地で記録していますので、浸水対策として止水板の購入を申請し、交付決定を受けることができました。実際に購入した商品は軽量で設置が容易なので、いざという時に焦らず設置することが可能なようです。備えはしましたが、活用する必要のない日が続くことを願うばかりです。

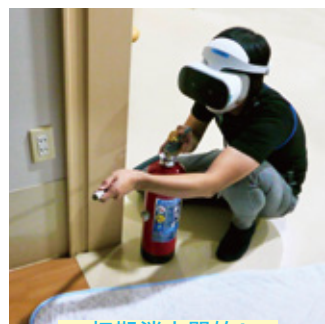
泉の家 炎と煙を体感

河村 律子

泉の家では毎月利用者、職員とで地震と火災を想定した消火・避難訓練を行っています。消火班、通報連絡班、安全防護班と役割分担をし、避難までの一連の動きを実際に行います。他にも大規模災害を想定した机上訓練や炊き出し訓練も行っています。ただ、実際に災害が起きたわけではないので、実感が湧きにくいのが現状です。そうした訓練になんとか緊張感を持たせようと、今年9月に消防署の協力のもと、夜間の短期入所を想定した「AR訓練」を実施しました。ARという装置を付けた職員には、目の前に炎と煙が燃え広がっていく様子がリアルに見えます。煙の中、初期消火を行い、利用者を居室から救出するまでの流れを職員



動けない利用者を
安全な場所へ



初期消火開始!



まずは意識が
あるか確認です

が順番に体験しました。「煙が真っ黒で前が見えず怖かった」「こんなに燃え広がってからだ救助は難しい」「迷ったり考えたりする暇はなかった」等口々に感想が飛び出しました。私も体験しましたが、居室内に炎や煙が充満するのが思ったより早く、一刻の猶予もないのだと、火事の恐怖を実感しました。今後も緊張感ある訓練を行うために、定期的にAR訓練を実施していき、炎や煙の恐ろしさを体感できたらと思っています。また、7月には消防隊員が来て、普通救命講習を行いました。講習には9名の職員が参加し、人形を使つての人工呼吸、心肺蘇生、AED実施訓練を行いました。災害時にいかに冷静に対応できるかは、こうした訓練の積み重ねにかかっています。利用者、職員の安全のために、今後も消防署に協力いただき、実りある訓練を行っていきます。

日の出エリア グループホームのぞみ クリスマス会 市川 美和

新型コロナウイルス感染症防止のためイベントなど中止となっている中で日々、頑張っている利用者に少しでも楽しんでもらいたい!と思い12月23日にクリスマス会を開催しました。

クリスマス会で何を食べるか、ケーキはどうするかなどを利用者会議で意見を出し合い「お弁当」「チキン」「チョコレートケーキ」と決めました。一人一人、食べたいお弁当を選び全員でいただきました。食後は利用者・職員全員でゲームを楽しみました。最後に皆で写真撮影したのですが…何回呼んでも前を見てくれない利用者が!まあ、これはこれで、のぞみらしくていいかなと思っています。

そんな個性豊かな利用者・職員で毎日笑いが絶えないのが「グループホームのぞみ」です。最後に、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願うとともに、これからもみんなで健康で笑いあふれるグループホームのぞみでありたいと思っています。



コイノニアがみきた 就労継続支援B型

いっちょうめパン 新商品決め 森田 なつ美

いっちょうめパンで発売する新商品を決めるため、ミーティングを開きました。厨房作業の時にどのパンを作りたいか、カフェ作業ではどのパンをお客様におすすめしたいかイメージしながら話し合いを進めています。人気投票の結果から、期間を調整しながら、新商品を発売しています。今年の干支(えと)であるうさぎのパンは「かわいい!」「いつから作るの?」と好評でした。

今後も、活動の中で利用者の意見を積極的に取り入れていきたいと思っています。いっちょうめパンにご来店いただいた際には、ぜひミーティングで選ばれた新商品を見てみてください。

レシピを見ながら 検討中

投票中

書記を頑張りました

何を買おうかな～



コイノニアがみきた 生活介護事業

念願の調理が できました! 高倉 佳孝

調理の活動は前日もしくは当日に参加利用者と職員で買い物に行き、買ってきた食材を使用して職員を含め参加者が全員調理に関われることを目的としています。

買い物の際には進んでカゴを持って食材を選んだり、調理の際には真剣な表情で材料を混ぜ合わせたりと、どの利用者也積極的に参加しました。美味しそうな匂いと段々完成に近づく料理を見て「おいしそう!」「はやくたべたい!」と普段の活動では見られない利用者それぞれの姿や表情を見ることができました。

利用者の皆さんに「コイノニアが楽しい」「毎日コイノニアに行きたい」と思っていただけの事業所でありたいと思っています。

岡本福祉作業ホーム 水害時避難行動 要支援者支援訓練 関口 友則



シャワールームの視察



ロッカールームを確認



今年度の上半期に世田谷区砧総合支所より、水害時の避難訓練に参加してほしいと依頼がありました。正式名称は「水害時避難行動要支援者支援訓練」です。とても長い名称ですが、水害時に、避難行動要支援者の避難所への受入をどのように行うか確認し、避難所を運営する区職員の役割や支援内容の確認などを行います。また要支援者から見た避難所の課題等を抽出し、今後の改善の一助とするという目的の訓練です。場所は、実際の避難先施設の大蔵総合運動場陸上競技場で行いました。東京オリンピックの米国立上チキヤンプ場として使われたア、整備が行き届いている施設

当日は、避難所へ着いてからの誘導・受付訓練、避難先(ロッカールーム)での車椅子の行動確認や泊滞在した場合の滞在イメージの確認、さらにシャワールームなどの使い勝手を確認しました。訓練後は、参加された関係機関の職員の方と気になった点や課題点を話し合いました。こちらからは「ロッカールームに良かれと思つて床に敷いている毛布が車いすの利用者にとっては、逆に危ない点や「シャワー室が狭いだけでなく通路が狭いので一方通行などの交通整理が必要な点」など様々な意見を伝えることができました。区の職員の方からは、当事者でないと分からない意見だらけで、とても助かりましたとの言葉も頂きました。近年、大きな被害を伴う水害も頻

防災は「万が一」「いざという時」に備えるための取り組みと考えています。玉堤分場では、過去防災の取り組みとして、様々な訓練を行ってきました。消火器を使った消火訓練、不審者対応や感染症対策なども行いました。また、施設に担架が常備しており、消防署職員に直接使用方法をレクチャーしてもらうこともありました。病院以外で担架が常備されている施設は珍しいのではないのでしょうか。常備してあっても、使う機会は無かったので、組み立て方から使用方法まで、大変参考になりました。また、立地は建物の地下階にあり、1階は別の福祉施設、2・3階は高齢者住宅という環境にあります。防災に対しても建物全体で連携を図っており、年一回の合同避難訓練を実施していました。現在はコロナ情勢のため、中止していますが、建物で火災が発生した場面を想定し、協力して避難誘導したり、有事に備えてきました。



訓練でも安全な高さまで避難します

岡本福祉作業ホーム玉堤分場 玉堤分場防災の歩み 細田 隼矢

でなく、利用者の避難場所の確保や活動・食事など多くのことに協力してもらいました。多摩川沿いの地下にある施設なので、水害リスクはこれからも課題です。被災後は年2回の水害訓練も行い、土のうも常備しています。悪天候の予報があれば、土のうを積み、浸水防止シートを使うなど、再発を防げるよう水害対策に努めています。

玉堤分場は、「被災したことがある」という経験に基づいた訓練ができる施設です。災害を防ぐことの難しさも知っています。経験を活かし、「万が一」「いざという

感謝

みなさまからの温かいご寄付とボランティア活動に心より感謝申し上げます。
またこのほかの方々の様々なご協力にも厚く御礼申し上げます。
みなさまの支えが私たちの力となっています。

一般寄付

吉村謙様	吉岡郁子様	山本和幸様	山田啓子様	山崎恭子様	明治学院高等学校様	村上肇様	三宅トキ子様	福田次郎様	福田宗市郎様	坂西千鶴子様	学校法人日本聾話学校様	高橋雅二様	仙川教会女性の会様	世田谷区赤十字奉仕団様	島田治夫様	佐藤和子様	佐々木信様	酒井恒蔵様	崔勇様	恵泉女学園中学校様	清永丈太様	北原和夫様
------	-------	-------	-------	-------	-----------	------	--------	-------	--------	--------	-------------	-------	-----------	-------------	-------	-------	-------	-------	-----	-----------	-------	-------

ボランティア

山本光枝様	守屋悠様	村上研二様	宮本和美様	見上裕二様	細田隆様	日本基督教団 五日市伝道所	野澤順子様	徳田行香様	救使河原麻美様	諏訪部麗様	下田麻紀様	小松理枝様	小島修治様	北内富子様	川水流泰輔様	上村尚子様	小幡仁様	上坂聖子様	猪俣順子様	伊藤友香様	池田恵美子様	あすなろ会様
-------	------	-------	-------	-------	------	---------------	-------	-------	---------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	------	-------	-------	-------	--------	--------

物品寄付

三栄造園株式会社 取締役会長 藤倉 幸彦 様	資生堂ジャパン株式会社 プレミアムマーケティング本部 越本 貴志 様	日本音楽文化交流協会 代表 及川 光悦 様	藤澤 晴信 様	三菱重工株式会社	三菱重工グループ労働組合連合会 本社・横浜地区本部 様	有限会社劇団ブーク 様
------------------------	------------------------------------	-----------------------	---------	----------	-----------------------------	-------------

友の会会費

岩崎能江様	殖田文子様	北白川集会レプタ会 様	北原和夫様	清永丈太様	佐々木信様	島田治夫様	高橋知央様	長瀬 潔 様	福田宗市郎様	牧野信次様	山崎恭子様
-------	-------	-------------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	-------	-------



今年もよろしく
おねがいします。

イラスト：湯田様
文：垂口様



泉の家

調理実習

徳富 聡士



おいしく出来るかな



皆で作った料理は格別

おいしいパスタの
出来上がり

12月2日(金)、泉の家の生活介護では、コロナ禍でなかなか実施できなかった調理実習の活動を約5か月振りに行いました。今回のメニューは、利用者みんなで話し合った結果、クリスマスにちなんだ『クリスマスパスタ』です。食材には園芸活動で育てたほうれん草や、クリスマスカラーのパプリカを用意して、茹でたパスタにあえて出来上がり♪調理の時間は、感染症対策を最大限に配慮して安全に行いました。調理場所も、生活介護の活動フロア、会議室、短期入所の食堂の3カ所に分かれて密を防ぎました。当日はボランティアさんにもお越しいただいて、みんなが嬉しそうに活動をされていた姿がとても印象的でした。午後に、自分達で作ったパスタを笑顔で試食し、その後の反省会では「おいしかった!」「楽しかった!」「またやりたい!」という利用者の満足されている声を沢山聞くことができました。コロナ禍で様々な活動やイベントが縮小している中、色々な工夫をすることにより安全に活動を提供することができて良かったです。これからも利用者の皆さんが安全・安心に楽しんでいただける活動の場を日々提供していけるように努めていきます。

岡本福祉
作業ホームたくさんの
感謝を込めて

齋藤 清楓

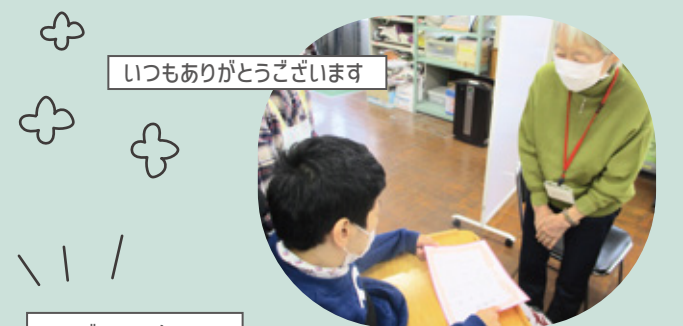
12月13日(火)に、岡本福祉作業ホームでは、日頃からお世話になっているボランティアの方に感謝の気持ちをお伝えする、毎年恒例行事の『年納め会』を行いました。例年であれば1年かけて準備した出し物を発表していましたが、コロナ禍になってからは、感謝の気持ちを込めたメッセージカードのお渡しや、利用者につわるクイズ大会を行うという内容に規模を縮小していました。ただ、コロナ禍も3年目に突入。今年度は趣向を変えて、就労継続支援B型では「ワークショップ体験」、生活介護では「紙相撲対決」と「岡本ホーム好きなものコラージュ会&ボランティアインタビュー」という3つのプログラムでもてなしました。

ワークショップ体験では、利用者と交流をしつつ、皆で用意したお花や動物等のオリジナルの型を、布巾にステンシルで模様付けをする体験をしていただき、その傍らではカラフルなウッドビーズで、ボランティアの方へお贈りするキーホルダーを利用者が作製しました。

紙相撲対決は「5名の利用者」VS「4名のボランティア」で対決。紙相撲が両方倒れて引き分けかと思えば、片方の力士の手が土俵に着いていない事などもあり、白熱し

た戦いを繰り広げました。コラージュ会では、利用者の方を知っていただくのを目的に、グループにわかれて自分の好きなものを発表、ボランティアの方の似顔絵の周りに好きなものをコラージュしました。その後は、ボランティアの方を知るという目的で、各グループでインタビューを行い、最後に感謝状をお渡しさせていただきました。

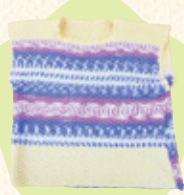
どのプログラムもボランティアの方に楽しんでいただけたようで、笑顔の多い会となって良かったです。



いつもありがとうございます

モノづくりを楽しんで
いただきました

着るととっても
暖かいです♪



セーターを編みました!

発見!! 私たちの知らなかった利用者の姿

玉堤分場での楽しい毎日と私の休日

私は現在玉堤分場に毎週通っています。毎週、分場に通って7年になります。分場では、毎日主にクッキー作業、紙作業など様々な作業があります。利用者は、ゲーム、書道の三つから好きなものを選び、送りで取り組むことができます。また、休日には、様々な活動に日々取り組んでいます。また、休日には、様々な活動に日々取り組んでいます。また、休日には、様々な活動に日々取り組んでいます。

玉堤分場での楽しい毎日と私の休日
● 酒匂 利絵

▶▶ 予定表 2022年度3月～2023年度6月 ◀◀

行事

- 3月**
- 3日(金) 泉の家
ありがとうの日
 - 日にち未定 日の出舎
日帰り旅行
- 4月**
- 3日(月) 泉の家・コイノニア
入所式
 - 3日(木) 泉の家・就労日の出舎
お花見会(予定)

【お知らせ】

新型コロナウイルスの影響で記載の予定が変更や中止となる場合があります。また、恒例となっている行事につきましても、中止とさせていただいているものがあります。詳しくは、各事業所までお問い合わせ下さい。

販売会

- 3月**
- 4日(土) 玉堤分場
テラス販売
 - 5日(日) コイノニア・岡本ホーム・泉の家
せたがや梅まつり
 - 9日(木) 玉堤分場
小田急販売会
 - 15日(水) 玉堤分場
スカイキャロット販売会
 - 18日(土) 泉の家
ご近所フォーラム
 - 19日(日) 泉の家
ECサイトイベント販売会
 - 28日(火) 岡本ホーム
うめとぴあ販売会
- 4月**
- 下旬 泉の家
花みず木フェスティバル
- 5月**
- 中旬 泉の家
緑化まつり
環境フェスタ



編集
集
イン

社会福祉法人
泉会
〒157-0072
東京都世田谷区祖師谷1-10-2
17

発行
所

障害者団体定期刊行物協会
〒157-0072
東京都世田谷区祖師谷1-10-2
17
頒価五十円

法人本部
泉の家

〒157-0076 世田谷区岡本二丁目33番23号
☎ 03(3417)3451(代) FAX 03(3417)3463
✉ izumi@izumikai.jp

岡本福祉
作業ホーム

〒157-0076 世田谷区岡本二丁目33番24号
☎ 03(3415)3366(代) FAX 03(3415)4976
✉ okamoto@izumikai.jp

相談支援センター
おかもと

(岡本福祉作業ホーム内)
✉ soudan-okamoto@izumikai.jp

玉堤分場

〒158-0087 世田谷区玉堤二丁目3番1号 B1F
☎ 03(5707)9431(代) FAX 03(5707)9433
✉ tamatutumi@izumikai.jp

コイノニア
かみきた
グループホーム
こいのにあ

〒156-0057 世田谷区上北沢一丁目32番14号
☎ 03(5316)2251(代) FAX 03(5316)2252
☎ 03(5316)2254(グループホーム)
✉ koinonia@izumikai.jp

日の出舎
就労日の出舎
相談日の出舎

〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
☎ 042(597)1451(代) FAX 042(597)2205
✉ info@hinodesha.org

グループホーム
のぞみ

〒197-0804 あきる野市秋川二丁目3番1号
☎ 042(533)3608 FAX 042(533)3609

編集後記

また新たな年度が始まる季節となりました。今後も、各事業所の魅力に刺激をもらいながら支援に携わり、その中で得られる利用者の様々な声や、泉会にしかできないことを伝えられるよう工夫していきたいと思っています。(日の出舎 宮武 有華)